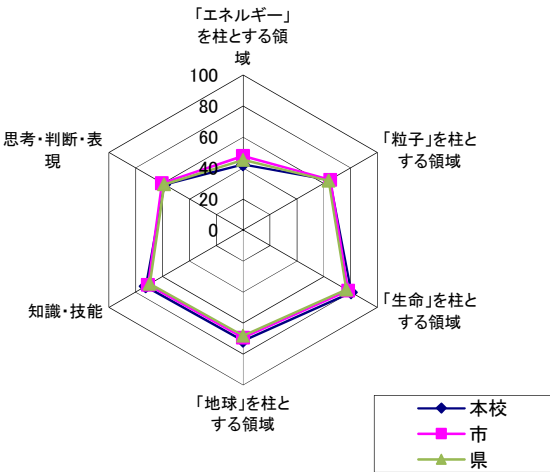


宇都宮市立富士見小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	42.3	47.8	45.3
	「粒子」を柱とする領域	64.5	64.9	63.6
	「生命」を柱とする領域	80.5	78.2	76.8
	「地球」を柱とする領域	71.5	69.5	68.1
観点	知識・技能	72.6	70.8	69.5
	思考・判断・表現	58.7	60.5	58.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	●本領域の平均正答率は42.3%で県の正答率を3ポイント下回った。 ○「簡易検流計の針のふれ方からわかることを答える」の平均正答率が26.1%で県の正答率を2.4ポイント上回った。 ●「並列つなぎの名称を答える」の平均正答率が46.1%で県の正答率を11.7ポイント下回った。	・乾電池2このつなぎかたの学習では、直列つなぎと並列つなぎの意味を正しく理解させるとともに、繰り返しその言葉を使って説明するなど、理解を深められるようにする。
「粒子」を柱とする領域	○本領域の平均正答率は64.5%で、県の正答率を0.9ポイント上回った。 ○「夏に線路のレールのつなぎ目がない理由を金属の体積の変化に注目して考える」の平均正答率が67.8%で県の正答率を8.5ポイント上回った。 ○「あたためられた空気の動き方を答える」の平均正答率が55.7%で県の正答率を6.5ポイント上回った。 ●「予想が正しかった場合の実験結果を選ぶ」の平均正答率が45.2%で県の正答率を10.2ポイント下回った。	・授業の際に、予想を考え仮説を立てて実験をし、結果と予想を比較しながら自分の言葉でノートにまとめたり、グループで話し合ったりすることで理解を深められるようにする。
「生命」を柱とする領域	○本領域の平均正答率は80.5%で、県の正答率を3.7ポイント上回った。 ○「あてはまるサクラのようすを選ぶ」の平均正答率が67.0%で県の正答率を9.1ポイント上回った。	・ほぼ全ての設問で県の正答率を上回り、学習内容を理解していることがわかる。理科に関する基本的な知識はしっかりと身に付いていると思われるので、今後も継続して基礎・基本を押さえながら、さらに発展的な問題についても指導していく。
「地球」を柱とする領域	○本領域の平均正答率は71.5%で、県の正答率を3.4ポイント上回った。 ○「水蒸気の名称をこたえる」の平均正答率が69.6%で県の正答率の12.0ポイント上回った。 ○「方位磁石の正しい使い方を選ぶ」の平均正答率が69.6%で県の正答率を10.9ポイント上回った。 ●「排水口ががつくられているところはどこになっているか答える」の平均正答率は30.4%で県の正答率を7.8ポイント下回った。	・授業で学習したことを、日常生活の事象とを結び付けて考えさせたり、観察をして分かったことを自分の言葉でノートにまとめたりすることで、科学的思考力を高め、理解を深められるようにする。